

大学創立 60周年記念 Green Festival 2026

神戸学院大学



神戸学院大学は2026年に
創立60周年を迎えました。

第473回

5月16日(土) 14:00開演 申込締切日/5月10日(日)

狂言をたのしむ会 2026

演目と出演者：◆『三本柱』茂山千五郎・茂山竜正・茂山虎真・茂山鳳仁
◆『寝音曲』茂山茂・井口竜也
◆『膏藥煉』松本薫・島田洋海

第474回

6月21日(日) 14:00開演 申込締切日/6月14日(日)

神戸学院大学 吹奏楽部 第38回サマーコンサート

指揮/松井隆司(音楽監督)・浅井莉玖(正学生指揮者)
出演/神戸学院大学 吹奏楽部

第475回

7月25日(土) 15:00開演 申込締切日/7月19日(日)

奈良ゆみ ソプラノ・リサイタル ～ 現代の歌曲と松平頼則の世界 ～

出演/奈良ゆみ(ソプラノ)、岡本佐紀子(ピアノ)、若林かをり(フルート)
日本とフランスで活躍されているソプラノの奈良ゆみさんのご出演で、エリック・サティ、フランシス・プーランクからジョン・ケージに至る現代歌曲の多様な表現と、日本の松平頼則(まつだいら よりつね)の作品をお聴きいただきます。通常の歌曲のカテゴリーのものから、「声を使った音楽」といったものまで、様々な声楽曲が上演されます。

～ プレ・イベント ～

13時15分よりミニ・レクチャー「松平頼則の音楽、のこされた作品と思想」を行います。

出演は、那須聡子(明治学院大学大学院)、宇野文夫(本学人文学部教授、作曲家)です。

場所は、メモリアルホールに隣接する961視聴覚教室(収容人数240名)で、事前申し込みは不要です。

会場/神戸学院大学有瀬キャンパス メモリアルホール(9号館6階)

主催/神戸学院大学 後援/兵庫県、神戸市、(公財)神戸市民文化振興財団、(株)神戸新聞社
協力/(一社)大学コンソーシアムひょうご神戸 参加/関西元氣文化圏

【イベント参加時の注意事項】

※天候等により
中止になる場合がございます。
詳細は大学のHPをご確認ください。
https://www.kobegakuin.ac.jp/social_contribution/greenfes

※中止の場合は大学HPトップの
「重要なお知らせ」に掲載いたします
ので必ずご確認ください。
<https://www.kobegakuin.ac.jp/>

【申込方法】

お申し込みは、先着順となります。残席の状況はHPに掲載します。
大学HPまたは右にある二次元コードよりお申し込みください。
申込開始日:4月1日(水) ※定員に達し次第受付を終了します。

～個人情報の取扱について～
ご記入いただいた個人情報は、電話での申込内容の確認、
入場メールの送信、申込み状況の統計分析に限って使用します。

※公演3日前までに入場メールが届かない場合は、一度お問い合わせください。

**2026年春季より往復はがきによる申し込みを中止し、
WEB申し込みのみとなっております。**



お申込みはこちらの
二次元コードから!



4月1日(水)より申込開始
定員に達し次第
受付を終了します

【問い合わせ先】

〒650-8586 神戸学院大学グリーンフェスティバル係
(担当部署:社会連携グループ)
電話 078-974-6105
平日 9:30-11:30、13:00-17:00

入場
無料
(要予約)



第473回 狂言をたのしむ会 2026

- 演目 ◆『三本柱』茂山千五郎・茂山竜正・茂山虎真・茂山鳳仁
◆『寝音曲』茂山茂・井口竜也
◆『膏葉煉』松本薫・島田洋海

今回の狂言会では、有瀬キャンパスの新しい校舎ARISE(あらいず)の完成をお祝いして、めでたく『三本柱』を演じていただきます。この曲は、新築祝いなど特別な催しに演じられるため、観る機会は多くありません。まして茂山千五郎師父子が揃っての舞台、とても貴重な上演になりました。それに、狂言の魅力にあふれた太郎冠者物の佳品『寝音曲』と膏葉の強さを競い合う奇想天外な『膏葉煉』を加えておおいに笑っていただくつもりです。ご来場をお待ちしています。

第474回 神戸学院大学 吹奏楽部 第38回サマーコンサート

指揮／松井隆司(音楽監督)・浅井莉玖(正学生指揮者) 出演／神戸学院大学 吹奏楽部

- 演目 ●2026年度吹奏楽コンクール課題曲
●委嘱作品 初演
●遙か祈りの書
●昭和歌謡コレクション

今年のサマーコンサートは、I部では今年度の吹奏楽コンクール課題曲やこの演奏会が初演となる委嘱作品を演奏します。II部では、皆さんが一度は聞いたことのあるようなポップス曲を演奏します。たくさんの中入部員を迎え、パワーアップした神戸学院大学吹奏楽部ならではのサウンドをお届けします。部員一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

第475回 奈良ゆみ ソプラノ・リサイタル ～ 現代の歌曲と松平頼則の世界 ～

出演／奈良ゆみ(ソプラノ)、岡本佐紀子(ピアノ)、若林かをり(フルート)

- 演目 ●グエン・ティエン・ダオ 「ジオ・ドン」
●モーリス・オハナ 「マルティニテ」「花のように」
●エリック・サティ 「エレジー」「言葉のない3つの歌」
●ジョン・ケージ 「花」
●アルノルト・シェーンベルク 「病める月」(「月に憑かれたピエロ」より)
●吉田隆子 「ポンチポンチの皿廻し」
●モーリス・ラヴェル 「魔法の笛」(「シェエラザード」より)
●オリヴィエ・メシアン 「ほほえみ」(「3つのメロディー」より)
●クロード・ドビュッシー 「パンの笛」(「ビリティスの歌」より)
●フランシス・プーランク 「愛の小径」
●松平頼則 「朧月夜に」
「君ならで」「秋風に」「はつかり」「川の瀬」(以上「古今集」より)
「逢うことの」、「おくとみる」、朗詠「7月の詩」、「鳥(迦陵頻)の急」

日本とフランスで活躍されているソプラノの奈良ゆみさんのご出演で、現代歌曲の多様な表現と、日本の松平頼則(まつだいら よりつね)の作品をお聴きいただけます。奈良さんは、若くしてフランスに留学され、当地の音楽界でキャリアを積み重ねました。今回は、通常の歌曲のカテゴリーのものから、「声を使った音楽」といった趣のものまで、様々な音楽を上演していただきます。

松平頼則(1907-2001)は、日本の前衛音楽の第一人者で、雅楽を素材にした作風でも知られていますが、晩年に奈良ゆみの歌唱を知り、大きく作風を変え多数の歌曲作品を作曲しました。それらは『源氏物語』に取材した音楽で、独特の浮遊感と情念を感じさせます。プレ・イベントとして、13時15分よりミニ・レクチャー「松平頼則の音楽、のこされた作品と思想」を行います。出演は、那須聡子(明治学院大学大学院)、宇野文夫(本学人文学部教授、作曲家)です。場所は、メモリアルホールに隣接する961視聴覚教室で、事前申し込みは不要です。